

障害のある人の選挙のバリアフリーアンケート結果のまとめ（暫定版）

1 実施時期

2023年9月～10月

2 実施方法

アンケートを障害者団体、障害福祉事業所に送付またはスタッフ（当該事業所利用者）から手渡し（1000通）

3 回収方法

オンラインによる回答

受取人料金払郵便により郵送回答

スタッフによる手渡し回収

合計139通

4 お問い合わせ先

小牧市障害者団体連絡会

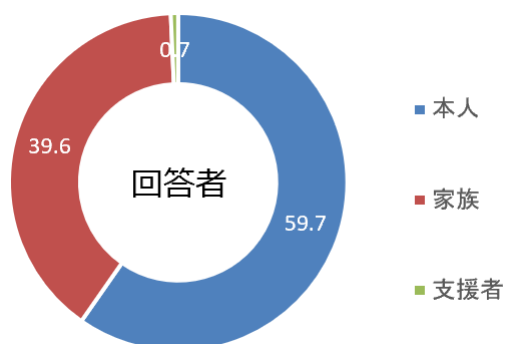
ホームページ <https://komaki-sdr.sakura.ne.jp/wp/>

電子メール mail@komaki-sdr.sakura.ne.jp

ファックス 050-3145-3224

1 回答者

本人 83人 家族 55人 支援者 1人 合計139人



家族55人のうち、51人は知的障害のある人の家族です。

2 障害種別

障害種別	人数
知的障害	45
精神障害	22
視覚障害；	18
聴覚障害	12
知的障害；体幹障害	7
下肢障害；	3
知的障害；精神障害	3
上肢障害；下肢障害；知的障害；	2
上肢障害；下肢障害；体幹障害；知的障害；	2
下肢障害；精神障害；	2
知的障害；内部障害	2
言語障害；上肢障害；下肢障害；	2
聴覚障害；知的障害；	1
聴覚障害；言語障害；知的障害；	1
聴覚障害；内部障害；	1
上肢障害；精神障害；	1
上肢障害；言語障害；下肢障害；体幹障害；知的障害；	1

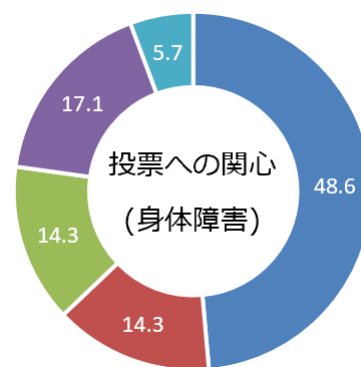
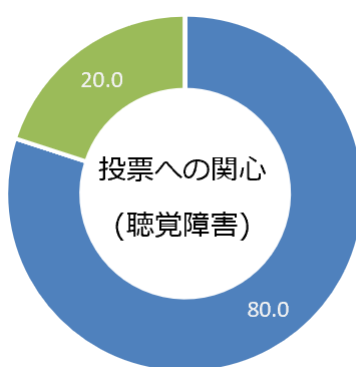
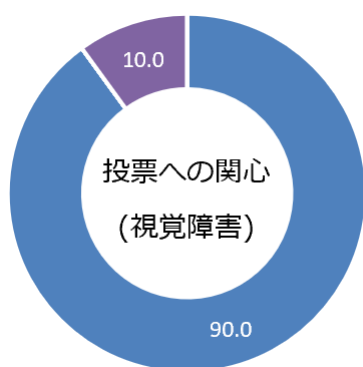
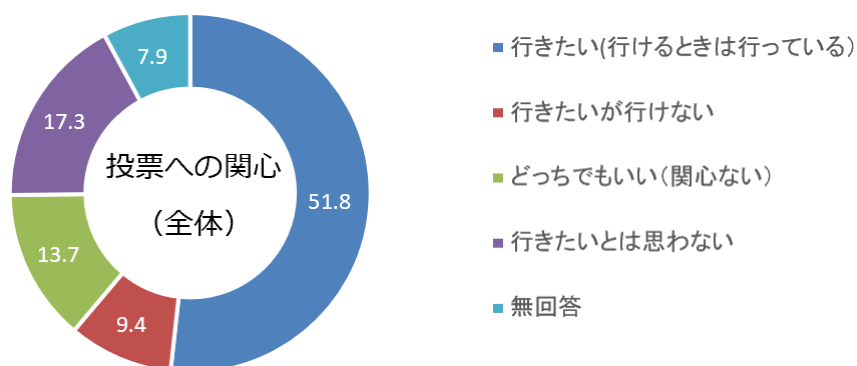
上肢障害;下肢障害;知的障害;体幹障害;	1
内部障害;精神障害	1
内部障害;	1
体幹障害	1
精神障害;体幹障害	1
上肢障害;下肢障害;	1
視覚障害;知的障害;	1
視覚障害;言語障害;	1
言語障害;体幹障害;	1
言語障害;上肢障害;下肢障害;体幹障害;	1
下肢障害;知的障害;	1
下肢障害;体幹障害;	1
無回答	2
合計	139

傾向を大きくつかむため、人数から、知的障害、精神障害、視覚障害、聴覚障害、その他の身体障害にわけ、それぞれ重複障害の場合もカウントし、集計することとした。

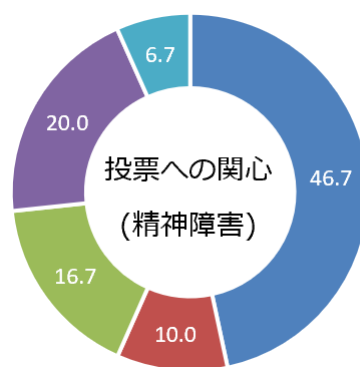
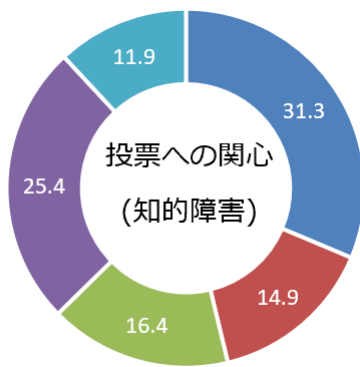
障害種別	人数
視覚障害	20
聴覚障害	15
その他の身体障害	35
知的障害	67
精神障害	30
のべ数	167

質問3（投票への関心）選挙があるときは、投票に行きたいですか。

	全体	視覚 障害	聴覚 障害	他の 身体 障害	知的 障害	精神 障害	重複 あり
行きたい（行けるときは行く）	72	18	12	17	21	14	82
行きたいが行けない	13	0	0	5	10	3	18
どちらでもいい（関心ない）	19	0	3	5	11	5	24
行きたいとは思わない	24	2	0	6	17	6	31
無回答	11	0	0	2	8	2	12
合計	139	20	15	35	67	30	167



※視覚障害、聴覚障害以外の身体障害

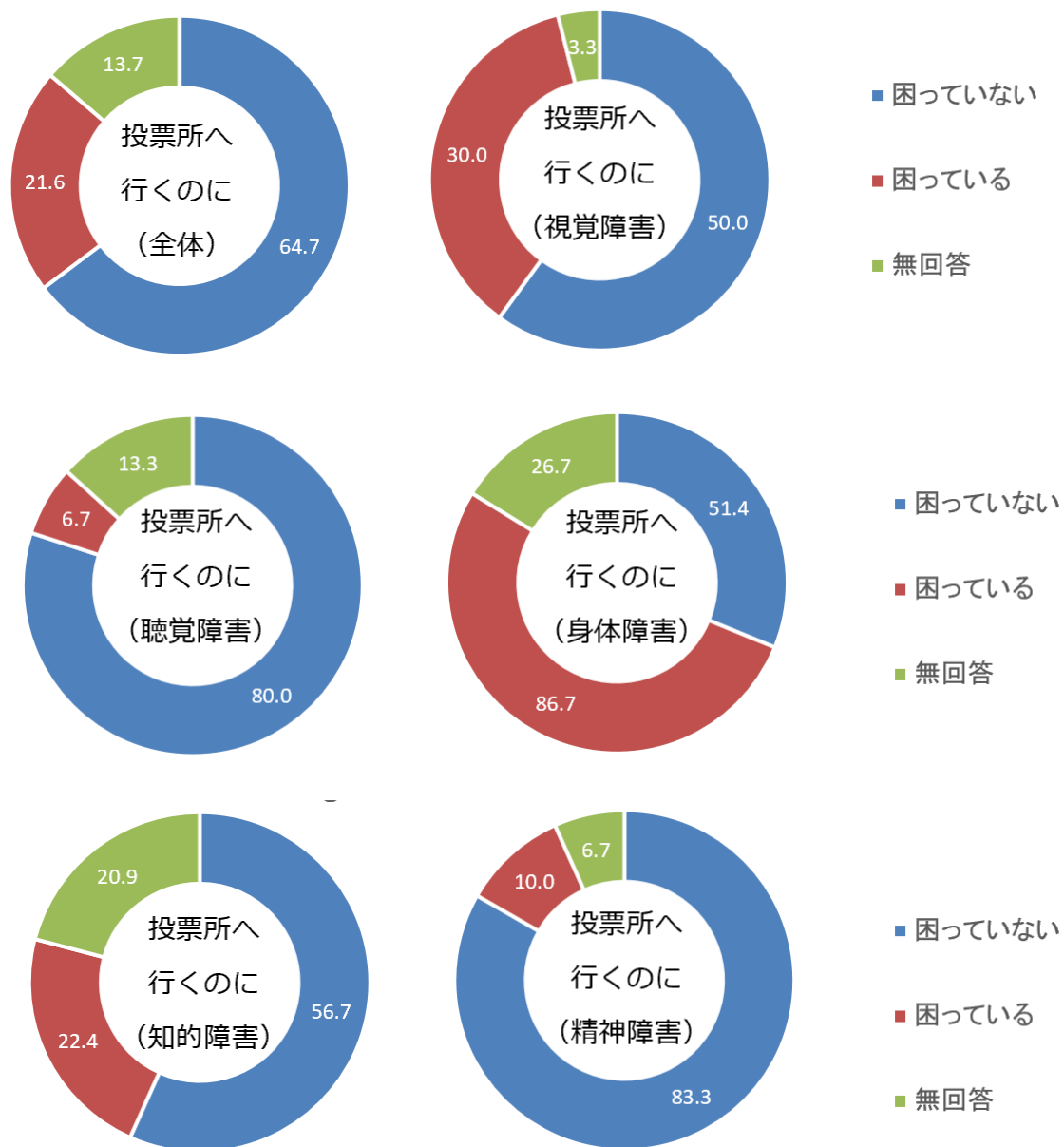


- 行きたい(行けるときは行っている)
- 行きたいが行けない
- どっちでもいい(関心ない)
- 行きたいとは思わない
- 無回答

質問4 投票所に行くのに困っていますか。

【投票所までのバリア（困ること）】

	全体	視覚 障害	聴覚 障害	他の身 体障害	知的 障害	精神 障害
困っていない	90	10	12	18	38	25
困っている	30	9	1	13	15	3
無記入	19	1	2	4	14	2
合計	139	20	15	35	67	30



質問4－1 投票所に行くのに困っている人に聞きます。その理由はなんですか。

【視覚障害】

- 目が不自由なので、一人で投票所へ行けない。
- 視覚障がい者なので**期日前投票を選んでいる。人が多いとぶつかりやすく動きにくいので。**
- 歩いていける場所に投票所がない**ので誰かに車でつれていってもらわないといけないから。そもそも一人歩きができない。
- 視覚障害に限った話ではないが、障害者への対応ができるスタッフが常駐しているかどうか分からない場所では安心して投票はできないため、スタッフが常駐しているであろう区役所などへ期日前投票をしに行った方がまだ安心できるからです
- 視覚障害のため、行きなれていない学校に行くのが難しい。**
- 期日がい投票に行くことが多いが、不便な場所にあり、今は**家族の送迎が頼り**であるが、家族が送迎できなくなったら、不在者投票へ行くのは難しくなると思っている
- 場所によって音声信号が少ないため危ないときがある
- 目が不自由なので、投票所までの距離が遠いと徒歩で行くのは難しい。

【身体障害】

- 会場で靴から**スリッパに履き替え**て行かなければいけないこと。
- 障害のため
- バリアフリーの場所なので行きやすい
- 雨が降るといけない**
- 入り口が狭い**
- 足が不自由なので出歩くのが大変。
- 投票所が遠くなって**（図書館から小牧小学校に変更）、歩行困難につき巡回バスを利用しなければならない。【聴覚障害重複】

【知的障害】

- 同じような投票は出来ない
- 選挙の意味がわからない

- 知的障害、自閉症なので、**慣れない場所、環境などで落ち着かない**
- 理解しているが離せなく字はゆっくりしか書けなく、時間がかかり親が分からない
親の付き添いが必要（ママ）
- 政治についてはわからないため
- 知的しょうがいだからばしょがわからない
- ひとりで行くことが難しいので家族や施設の職員に連れて行ってもらっている。
- 今は家族が比較的すいている時間の投票所に連れて行っているが家族が行けなくなった時は困難
- 行くと投票するときまようから
- 親自身が車がないので不便であり、**以前より投票所が遠くなっている**のでバスの便もあまりよくありません。
- 親の立場からの意見です。高齢のため発作のある子を連れて歩くのも負担を感じます。
- バリアフリーではない
- 重度知的障害なので理解できない
- 近所の神社ですが男性のかたが 4 人で手伝ってくださいますのでとても助かります。

【精神障害】

- 就労支援所に開設して仕事帰りに投票できるようにしてほしい。
- 引っ越したばかりでどこに投票所があるかわからない

質問4－2 どのように変わればよいですか。

【視覚障害】

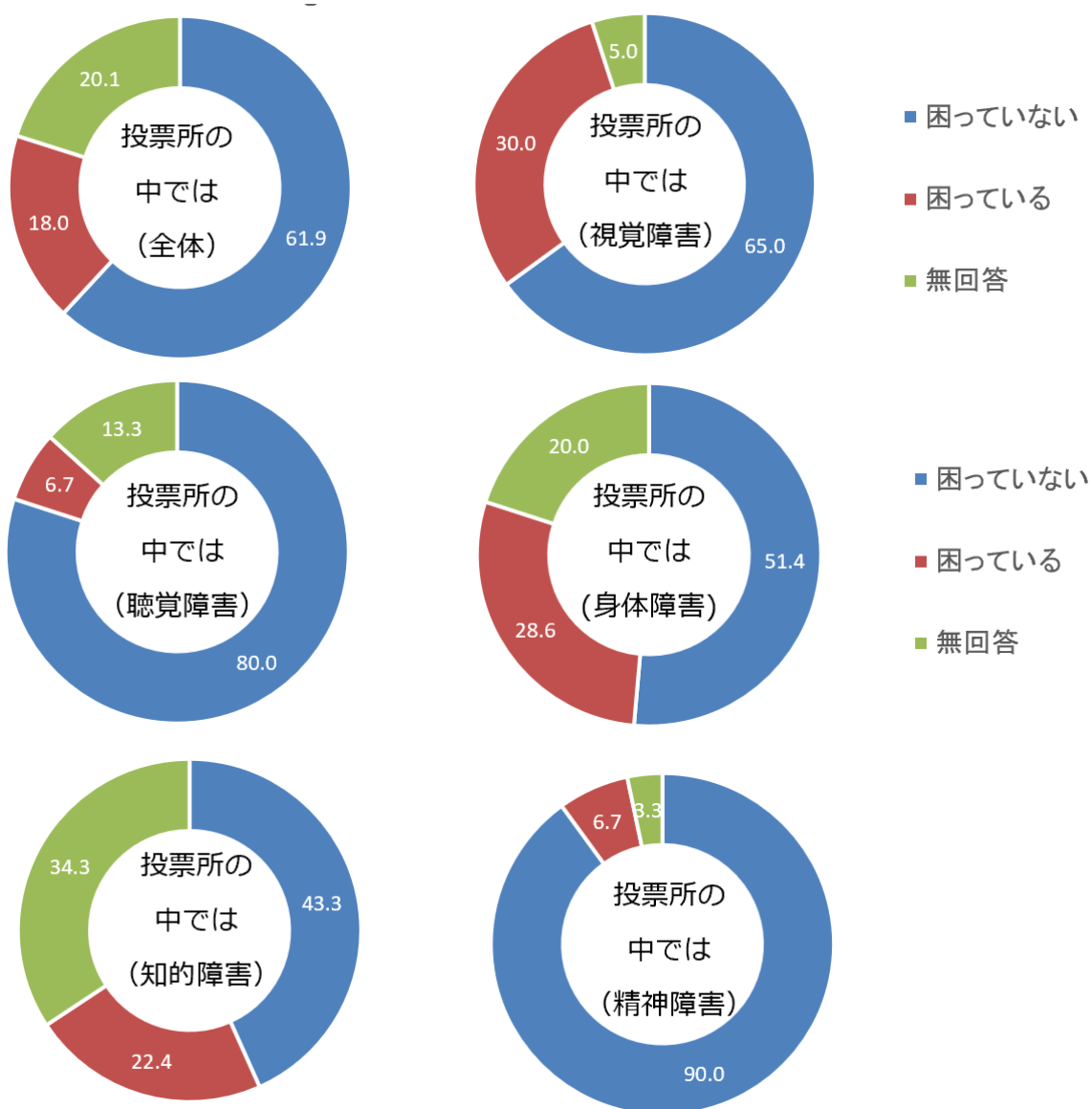
- 地下鉄駅に投票所を開設してほしい。
- ヘルパーさんと行動している場所で投票できるとよい。または、**職場などで。献血カーのように。**
- 電話で投票できるとか自宅にいても投票できるといいかな。ネットは使えない人もいるからもしおこなうなら万全のサポート体制がほしい。つきっきりで面倒みてくれるとか。

- 障害者に対応できるスタッフが常駐していることが前提ですが、常駐していて安心して投票ができるという情報を発信してほしい。それこそ選挙期間にはニュース番組などで「どの投票所でも安心して障害者も投票できること」や「実際にどんな対応をしてもらえるか」や「リポーターが目隠しや耳栓や車いす状態で投票してみる」などなど取り組みをどんどん発信することが重要ではないかと思います
- 現状の最寄りの学校の他、当日は区役所や市役所などの公共施設での投票を行ってほしい。また、マイナンバーカードを利用してウェブやスマホから投票できる仕組みを考えてほしい。
- Web 解答できるようになるととてもありがたい
- 音声信号を増やしてほしい
- 自宅近くのスーパーなど徒歩で行ける範囲内に投票所を開設してほしい。

質問5 投票所のなかで困っていることがありますか。

【投票所の中でのバリア（困ること）】

	全体	視覚 障害	聴覚 障害	他の身 体障害	知的 障害	精神 障害
困っていない	86	13	12	18	29	27
困っている	25	6	1	10	15	2
無記入	28	1	2	7	23	1
合計	139	20	15	35	67	30



質問5-1 投票所のなかで困っている人に聞きます。その理由はなんですか。

【視覚障害】

- 視覚障がい者ですが弱視なので、自分のやりたい方法で投票ができない。
- なぜ、「そのように希望するのか？」理解をしてもらいにくい。"
- だいひつ、投票箱のいちがわからないのでガイドしては最高**
- 点字投票を知らないスタッフがいてこっちが説明しないといけない。そもそも点字器おいてない投票所もある。**そのため投票に時間がかかるので人の少ない平日の期日前投票にいつている。
- 人やで行く場合、会場に入ってからどこに行けば良いか、紙のどこに記入をすればいいかなと、みづらくて困ることが多い。
- 視覚障害があり物が見えないので、
 - 1、**候補者名を忘れてしまった時に確認しづらい。**
点字で一覧表がある場合もあるが、どこに置いてあるかまでを先に説明されたことはない。
 - 2、**投票用紙の表裏や上下を説明されたことがない。**
点字は表裏や上下が逆だと全く違う文字になるので、逆の面や逆さ向きに書いて無効票になるのだとしたら、そもそも投票に行った意味がなくなる
 - 3、「やめさせたい裁判官の名前を書いてください」という投票？がある時、一般人は裁判官の名前に○をつけたリチェックマークを書き込む欄のある用紙を渡されるが、**視覚障害者の場合は白紙の点字用紙を渡されて「裁判官の名前を書いて」と言われる。**
目の見えていた時でもこの投票は事前情報の少ないイメージがあるが、裁判官の名前まで把握して投票に来る人はいるのだろうか？"
- 候補者名などの掲示が見えづらい。また、**指定の筆記具が鉛筆で、文字が薄く薄い**ため、視覚障がいの自分には見えづらいため、書きづらい。"

【聴覚障害】

- 問われたように思うが、何を問われたかがわからない。**

【身体障害】

- 車椅子なので混んでいると、動きづらい
- 中が狭くてたくさんの人が見えたときに迷惑かなと感じてしまう
- 投票箱に入れてもらえているので困っていない
- 車いすで片麻痺なので紙を抑えることができる物を考えてください

【知的障害】

- 知的障害が非常に重度なため、候補者を選ぶことができない。毎回、白紙で投票している。
- 知らない人に囲まれると、ちょっと本人がパニックになるので、できたらなるべく知っている人（家族）が近くにいてほしい（いさせて）ほしい。
- 重度知的障害でわからない。
- 選び一人だけの名前を書くのは難しい
- 一人では投票できないので代理投票を希望。投票所によって対応が違うことがあると聞くので心配。
- 雰囲気緊張する。じっと見られている。静か。怖い。雰囲気。
- 理解しているが離せなく字はゆっくりしか書けなく、時間がかかり親か分からない親の付き添いが必要（ママ）
- 指導していただけるとありがたい。
- 障害者でもきらくに行けるようにしてほしい。
- 記入場所がたくさんあってどこを使っているかわからない。
- 話したいが声が大きいから話しづらい。"
- 本人だけでは記名、投票ができないので支援が必要
- そもそも地域の投票所はバリアフリーではなく行くことができません。
- 重度知的障害なので理解できない
- 本人が投票者を選べないので無記名（白紙）投票しかできないことが悩ましい
- 一人で投票できない
- 誰に投票するか迷う

【精神障害】

○投票箱の設置か所を増やしてほしい

○ベビーカーで行った時、少し狭く感じました

質問5-2 どのように変わればよいですか。

【視覚障害】

○視覚障がい者でも弱視の人はサインペンなどで自分で記入することができるようにしてほしい。視覚障がい者への理解を深めてほしい。投票箱への案内は必要だが投函は自分でやりたい。広報車の名前を読み上げてもらうより、大きな文字での印刷物か端末で観れるようにしてほしい。

○点字や代理でかいてくれるなど様々な投票方法があることを選挙スタッフに周知、実施してほしい。

○会場に入ってから出るまで、誘導してくれる人(記入事項、記入場所も教えてくれる)が一人ついてくださると嬉しい。

○1（候補者名を忘れたとき）と3（最高裁判所国民審査）に関して

候補者名や政党一覧を読み上げた音声を用意し、投票用紙を渡す際に希望者には音声を貸し出すなどをしてもらえると助かります。

2（投票用紙の表裏や上下）に関して

表裏や上下の説明をしてもらえると助かります。

たとえば「こちら側に点が出て、こちらが上になるよう書いてください」といった感じでしょうか。表裏や上下が逆でも問題ない場合も問題ないことを説明してもらえると助かります。

3（最高裁判所国民審査）に関して

基本的には1の例と解決策は同じで良いと思うが、これは事前情報も少ないので投票があるということすらその場で知ることが多い。"

○大きく太い文字で候補者名等を掲示する。見えにくい人のために、筆記具にサインペンやマジックを用意してほしい。

【聴覚障害】

○筆談など文字で問う（又は答えてもらう）と良いと思う、文字変換のアプリの利用も良いかと思う。

【身体障害】（重複あり）

- 候補者の情報をいくら解りやすくしても、そもそも目の前の物を選択することができない。なので白紙で投票する以外に方法が思い付かない。
- 係りの人が持ち運べる小型の投票箱があると助かる。ひざの上（車椅子の）にのせてもらえたら入れられる（手伝ってもらえたら）。うちの子も自分で入れてみたい。
- 家族がすぐそばで居られるのと、本人の気持ちを汲み取ってもらえるような支援者がいてくれたら助かる。
- たくさんの障がいの人が投票に参加して選挙が普通になるといい
- 広い場所で障害のある人だけの場所があっても良いかも

【知的障害】（重複あり）

- 候補者の情報をいくら解りやすくしても、そもそも目の前の物を選択することができない。なので白紙で投票する以外に方法が思い付かない。
- 顔カードや名前などのかみをおいて
- 選んで投票などがわかりやすい
- 投票所の中に家族も入れるということを周知してほしい。係の方が2人付き添ってくださるけど、本人が落ち着くために家族も手を繋ぐなどできるようにしてほしい。このことをどの投票所でも理解してほしい。
- 係りの人が投票箱を手前に持ってきてくれるとよい。
- 「何かわからないことがありますか」と声をかけて頂けないものか。
- 親が助けようとする不正をしていると見られるような気がする。
- 支援が必要な人は別のブースで投票できないものか。
- 障害を理解している人がいて欲しい
- わからない
- 親と一緒に投票またはヘルパーと一緒に投票できるとよい。
- 係りの人が持ち運べる小型の投票箱があると助かる。ひざの上（車椅子の）にのせてもらえたら入れられる（手伝ってもらえたら）。うちの子も自分で入れてみたい。
- 家族がすぐそばで居られるのと、本人の気持ちを汲み取ってもらえるような支援者がいてくれたら助かる。"
- たくさんの障がいの人が投票に参加して選挙が普通になるといい

○広い場所で障害のある人だけの場所があっても良いかも

○付き添いが必要

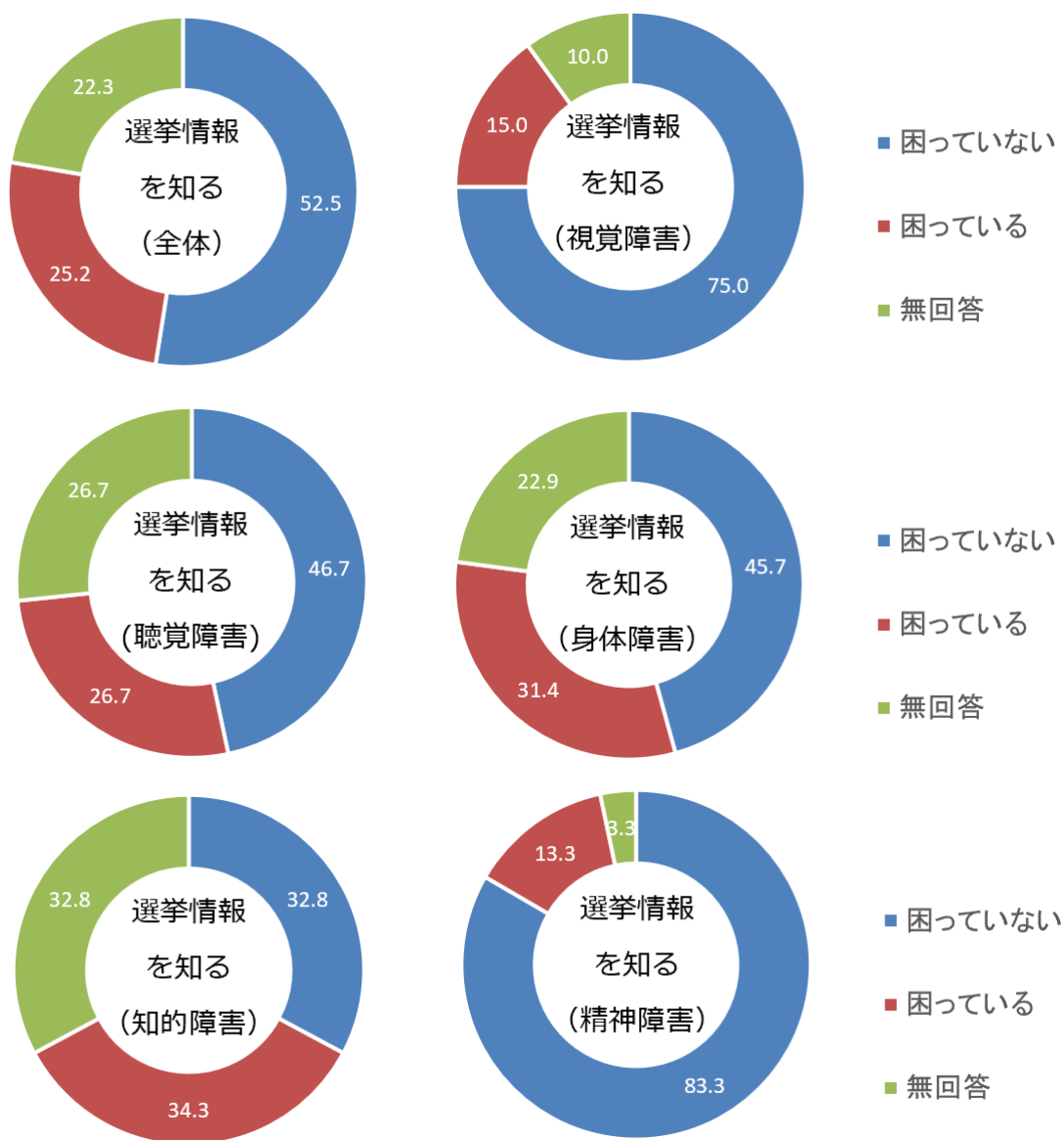
○今のところ別に困っていません

【精神障害】

○広さが欲しいです

質問6 選挙情報（立候補者の政策など）を知る上で困っていますか。

	全体	視覚 障害	聴覚 障害	他の身 体障害	知的 障害	精神 障害
困っていない	73	15	7	16	22	25
困っている	35	3	4	11	23	4
無記入	31	2	4	8	22	1
合計	139	20	15	35	67	30



質問6－1 選挙情報を知る上で困っている人に聞きます。その理由はなんですか。

【視覚障害】

- 印刷物では読めないので伝わらない。
- 広報誌が届くのが遅いので期日前投票をに間に合わないことが多い。
- 点字やデジの選挙のお知らせが到着するのが遅い。

【聴覚障害】

- 内容が役所的でなじめない。
- 立ち合い演説会があったとしても聞こえない。(個人演説会があるとして)

【身体障害】

- 内容が役所的でなじめない。
- 選挙広報は、漢字や難しい言葉が多くてわからない。
- 立候補者がよく分からん人ばかり。

【知的障害】

- 漢字が難しい、読めない
- 知的障害が重すぎて理解させられない。
- わかりやすい情報が得られない
- 重度の知的障害の場合は、選挙の能力はないのかもしれないけど、人権としての選挙権があると思うので、本人にとって有益な人に（親としては）投票してもらいたい。投票所に行くこと自体が社会参加しているという考え方もあるが、それだけでは選挙権を行使しているとはいえないと思う。
- 選挙公報は漢字や難しい言葉が多くてわからない。
- 内容が理解できない
- せんきょうほうはかんじがおおいからわからない
- 選挙公報は漢字は難しい言葉が多くてわからない。
- 投票所にも選挙情報があるとありがたい。
- わかりません
- 広報を見たり聞いたりしても忘れてしまう。

- 最後まで読み切れない。
- 字は読めない。
- 選挙公報や選挙情報は難しく本人には理解できない。
- 親が「この人に投票しなさい」とは言えないので、毎回名簿の一番上の名前を書いている気がする。
- 通っている施設では立候補者の話をされることがあるようですが親がその場面に居ないので本人がどれだけ理解できているかわからない。
- 理解が難しいから、親が障がいの方に対して優しい考えの方を、また近所の方を伝えているがどこまで理解しているか定かではない。
- 公報は、いろいろ言い回しが伝わりづらい書き方をされている。「ふんわり」書いてあるので、「で、何をしてくださる方なの??」となります。
- 重度知的障害なので理解できない
- 選挙公報は、漢字は難しい言葉が多くてわからない。
- わかりやすくして欲しい大人でもわからないことがある。
- 重度知的障害でわからない。
- 理解できない
- 言葉が難しい。
- 意味がわからない。
- テレビを見ているが流れないこともある。
- 立候補者の候補が難しく理解ができない
- かんじがむずかしい。

【精神障害】

- せんきょうほうはかんじがおおいからわからない
- 候補をわかりやすく知らせてくれる人や読み聞かせできる人が常に居て欲しい
- ろくな投票する人がいない。他のエリアなどにはいるコトが多い。
- 選挙広報は、漢字や難しい言葉が多くてわからない。
- 立候補者の政策が誰なのかよくわからない。
- 選挙広報は、漢字や難しい言葉が多くてわからない。

6-2 どのように変わればいいですか。

【視覚障害】

- 犬山市では音訳 CD で情報を受け取れると聞いた。そのようなものもあったらよいと思うが、**スマホなどで候補者の演説を見れるようにするとか、広報をテキストで掲載するなど声で伝わるようにしてほしい。**
- 選挙期間が始まる頃には届くように準備してほしい。**今やインターネットで候補者の情報は手に入るとはいえ広報誌が届かない選挙は選挙管理側のやる気を疑う**
- 点字やデイジーによる郵送は大変ありがたく、このまま継続してほしいが、これに加えてスマホやパソコンで選挙のお知らせが閲覧できるとありがたい。点字では読むのに時間がかかったり、デイジーCD をセットするのが面倒であったりするのに対し、**ウェブで確認できればこれが日常的な情報収集の 1 つとして確立されているため、より情報が容易に得られる。**もちろん、これまでの手段に慣れている人もいるので従来の方法も残してほしい。

【聴覚障害】

- 民間の専門業者の意見を聞き取りしたらどうか。
- 選挙カーがはっきり聴き取れないのでただの騒音になる。TV の選挙情報もうまく字幕が使えないこともある。
- 文字変換アプリの使用

【身体障害】

- もっと情報をオープンにして欲しい。**

【知的障害】

- 知的障害者にわかるように工夫する
- 問いには沿っていませんが、**代理投票の意思を示すことや投票するためのもの（立候補者を示すものを持参するなど）あらかじめ準備しておけるとよい。**これを親族などが代理で手伝うことをどの投票所でも理解してほしい。
- 知的な障害のある人にもわかりやすい公報の発行**
- 知的障害者にとっては無理なことで除外してほしい。

- 字も書けない読めないではどうすることもできない。
- 知的しょうがいのある人にもわかりやすくしてほしい
- 知的な障害のある人にもわかりやすい公報の発行
- 「知的な障害のある人にもわかりやすい広報の発行」すごくありがたいです。
- わからん
- DVD など映像したものが貸し出しであるといい。
- ユーチューブとかで立候補者の話が聞けるとよい。
- 誰にでも分かりやすい選挙情報の発信
- 本人にわかりやすい言葉で箇条書きのようにまとめてあると説明しやすいかと。
- 写真を選ぶ
- 行かなくてもスマホでできる。
- 公報を明るい感じの見やすいようにデザインしてほしい。
- 付き添いが必要一番
- 名前と顔がわかればよいのですが名前だけだと分からないみたいです。
- でも行きたいからと連れて行きます。
- みなさんには迷惑をかけると思いますがよろしくお願いします。"
- わかりやすい言葉、絵などを使用してもらえるといい
- 例のとおりです。
- 分かりやすいことばにしてほしい。

【精神障害】

- わからない
- そもそも普通の人にも公約などがわかりづらいのでは（ちゃんとわかって投票して
る人がどれだけいるのか・・・）
- 知的障害の人にわかりやすくはなかなかむづかしいかと。"
- わかりやすい言葉やレイアウトで見られるような公報にして欲しい
- 例と同じ（知的な障害のある人にもわかりやすい公報の発行。）

7 欄外に記載されたコメント

○投票したいと思わないと思う。

○投票が理解できないと思う。"

○本人があまり関心がないようなので申し訳ありません。

○投票とは何かもわからない。

○ひらがなも書けないので投票所に行く気はない。

○重度の知的障害なので投票の何かも分からないので投票には行けません。

○小牧の広報で不在者投票のことがありましたが知的な障害の人のことは何もありませんでした。どうしてでしょうか？投票する権利はみんなあるはずですけど。

○ほかの障害のある人ももっと選挙に参加できるようにしてあげてほしい。(入所者やグループホームの子らも)

○施設職員らの意識を高めてほしい。

○本人の意思確認ができないので。

○重度の身体知的障害があり選挙の意味もわからないから。

○自分の意思が伝えられないけれど、大切な一票その大切な一票が生かせないのは、とても残念なことだと思います。

○だいぶ前の話になりますが、郵送で投票ができると聞きましてその時にお話を伺ったのですが、選挙は本人の意思表示ができる場合に、付き添いの人ではなく係の人の立ち合いで本人からの意思が伝えられれば投票できると聞きました。一度も投票できておりません。

○選挙の意味も何も理解できない。

○投票したことがないし今後もしないと思う。

○知的障害が重度のため投票すること自体が難しい。

○選挙自体を理解できません

○本人が投票てなんだろうかわかっていないと思う

○重度の知的障害のためどの質問にもお答えできませんでした。

○申し訳ありませんが、障害があっても選挙に参加させてやりたいと考えておりましたが、全く理解ができないし文字も書けません代筆なんてもってのほか。

○親が子供のことを考え子供のために声を上げ、障害者が安心できる生活できる社会、親なき後を心配しています。本当にありがとうございました。

